

1. 木質バイオマス関連情報

■岩手県久慈市の(有)谷地林業、自社ブランド岩手木炭「黒炭(KUROSUMI)」のフランス向け輸出を開始。第1便のコンテナに5.7t(960箱)を積んだ船便が6月19日に出航。輸出先となるフランスの輸入会社「パルミフランス」のオリヴィエ・デュレンヌ社長が同日谷地林業を訪れ、木炭の生産工程を見学。高品質な黒炭は火力が強く長持ちする。フランスでは飲食店のほかパーティーで子豚の丸焼きを食べる文化があり、そうした需要も見込めるといふ。同社によると、県内企業単独での木炭輸出は初【岩手日報：2023/06/20】

<https://www.iwate-np.co.jp/article/2023/6/20/144270>

■愛媛県西条市の林業会社(株)マルヤマ特殊伐採が、自分で薪を割っただけ持ち帰れる、「食べ放題ならぬ、割り放題」の新事業を開始。同社の本業は建物に近接した大木や伸びた枝が屋根や電柱などの支障になっている木、切り倒す方向が限られているケースなどに対応する「特殊伐採」。切った木や枝は「伐採ごみ」として費用を払って処分していた。だが昨年からは薪の販売に関する問い合わせが月に数件寄せられるようになり、薪の需要が高まっていると感じて自走式の薪割り機を約100万円で購入。人件費をかけずに客に薪割りを体験してもらうことにしており、客には薪割り機や防護眼鏡、丸太を運ぶ工具を無料で貸し出す。機械の使い方は作業前に講習。近隣であれば、軽トラックを出して3千円/台で配達する。土日限定、午前8時から午後5時までで、1日1グループ税込み1万円。最大600~700kg持ち帰ることが可能。ピザ窯用にとイタリア料理店から問い合わせがあったりと、すでに7月中旬まで予約が埋まっている【朝日新聞：2023/06/22】

<https://www.asahi.com/articles/ASR6P7VTSR6KPTLC00G.html>

■環境省、6月5日~15日までドイツ・ボンにおいて開催された、科学上及び技術上の助言に関する補助機関(SBSTA)及び実施に関する補助機関(SBI)会合の第58回会合の結果を公表。

詳細は下記を参照【環境省：2023/06/22】

https://www.env.go.jp/press/press_01746.html

■中部電力(株)(愛知)、岩手県紫波郡矢巾町に発電出力1,990kWの木質専焼バイオマス発電所を開発へ。中部電力が稲畑産業(株)(大阪)と共に、(株)古里木材物流(岩手)が設立した「古里FICエネルギー合同会社」(岩手)に出資し、「矢巾発電所」の開発に合意。6月27日には合同会社が矢巾町と「災害発生時における電力供給に関する覚書」を交換し、矢巾町および(株)東北銀行(岩手)と「農山漁村再生可能エネルギー法に基づく基本計画の作成に関する覚書」を交換している。発電所は主に岩手県産の未利用間伐材や林地残材等を木質チップにして使用。想定年間発電電力量は約1,450万kWh(一般家庭約5,000世帯分に相当)。工事は2025年4月開始、2026年1月運開予定【中部電力(株)：2023/06/27、ニュースイッチ：2023/07/16】

https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1210930_3273.html

<https://newswitch.jp/p/37687>

■青森県南部町で、木質バイオマス発電所の起工式。(株)曾我産業(青森)がSPCとして設立した「曾我バイオマス発電(株)」(青森)が、同町柵木陣場に「柵木発電所」を建設。主に青森県内や近隣の山林から搬出される林地残材、間伐材等の未利用材などを木質チップにし、3万1,000t/年の使用を見込む。発電出力は1,990kW、年間想定発電量は一般家庭約5,000世帯分相当の1,450万kWh。発電した電力はFITを利用し20年間東北電力(株)(宮城)に売電される予定。曾我産業は従来から木質チップ供給業者として複数のバイオマス発電所にチップを販売しており、今回同社のチップ加工技術やノウハウを活かして発電所を建設することとなった。総事業費は約20億円。地元の(株)青森銀行(青森)が総額19.5億円のシンジケートローンを組成し、融資している。(株)タクマ(兵庫)が発電プラントを受注。7月着工、2026年1月稼働予定【デーリー東北：2023/06/27、(株)タクマ：2022/08/30、Web 東奥：2022/09/01、(株)青森銀行：2022/08/31】

<https://www.daily-tohoku.news/archives/173264>

<https://www.takuma.co.jp/news/2022/20220830.html>

<https://www.toonippo.co.jp/articles/-/1310952>

<https://www.a->

<bank.jp/contents/acms/information/001339.html>

■航空自衛隊、6月12日に岐阜基地所属の戦闘機向けにバイオマス由来原料や使用済み食用油等から作られた持続可能な“SAF(サフ：Sustainable Aviation Fuel)”燃料を使用。同基地所属のF-2B戦闘機「機体記号：63-8101」と、F-15J戦闘機「同：02-8801」に対して給油を実施。航空自衛隊としては2022年11月の政府専用機運航(羽田/プノンペン間)でSAFを初めて使用。その後、2023年1月(羽田/パリ間)と5月(羽田/広島間)の運航でも使用。食料や水を巡る争いを引き起こすなど、気候変動は地域を不安定化させる「危機の乗数」という性格を持つ。兵士のストレスや装備品運用上の障害につながれば、軍の任務達成にも負の影響が避けられない。米軍は気候変動を実存的脅威に位置付け、NATOも影響を可視化する取り組みが進む。航空自衛隊を管轄する防衛省では、自衛隊が排出する温室効果ガスの排出量を削減する計画を策定しており、今後は戦闘機などへも給油範囲を広げていく見込み【Foresight：2023/06/28、Fly Team：2023/06/14】

<https://www.fsight.jp/articles/-/49866>

<https://flyteam.jp/news/article/139152>

■(株)IHI(東京)、マレーシア国営電力会社 Tenaga Nasional Berhad(以下、TNB)100%子会社である TNB Power Generation Sdn Bhd(以下「TNB Genco」)所有の石炭火力発電所の脱炭素化を目指した実現可能性調査を6月に完了。マレーシア政府およびTNBは、2050年までに温室効果ガス排出量ゼロを目指しており、TNB Gencoは脱炭素化を加速するため、2035年までにCO₂排出量を0.35t-CO₂/MWhに下げる目標を打ち出している。TNB Genco および IHI はアンモニアやバイオマス燃焼技術の適用に向けた技術的および経済的な検証(以下、「FSJ」)を2022年度から実施し、協議を重ねてきた。両社はFSの議論を踏まえて脱炭素化計画の骨子を策定し、実現に向けて速やかに行動していくことで合意。今後、アンモニア・バイオマス少量燃焼を早期に実施するための基本設計を行うとともに、大規模化に向けてより詳細な実現可能性調査を実施していく【(株)IHI：2023/06/28】

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2023/resources_energy_environment/1198349_3538.html

■鶏ふんを利用したバイオマス発電を展開する(株)十文字チキンカンパニー(岩手)と(株)パルスシステム電力(東京)、パルスシステム生活協同組合連合会(東京、以下「パルスシステム連合会」)の3者は7月1日から、取引電力の一部で長期的に購入契約する「オフサイトPPA(Power Purchase Agreement=電力購入契約)」に基づく電力取引を開始。長期契約で購入することにより情勢変化で変動する市場価格の影響を受けにくく、安定した価格で電力を利用することが可能となる。締結した契約の対象はパルスシステム連合会および関連会社の物流センターなど11カ所で消費される電力。今後はパルスシステムグループの各生協事業所や一般家庭への拡大も検討する【パルスシステム生活協同組合連合会：2023/06/30】

<https://information.pal-system.co.jp/press/20230630-jumonjioffppa/>

■四国電力(株)(愛媛)、愛媛県西条市にある四国電力西条発電所新1号機の営業運転を6月30日に開始。同発電所は2プラントの発電設備を有し、1965年11月に石油火力発電所として運開。石炭への燃料転換工事を経て、2005年には全国の電力会社に先駆けて木質バイオマス(製材残渣)を燃料の一部として導入。経年劣化が進んだことから2019年よりリプレース(建て替え)工事を実施してきた。旧1号機の定格出力は15.6万kW、発電効率が約38%だったのに対し新1号機は同50万kW、同43%以上と大幅に増え、夏冬の電力不足の解消や発電効率アップが可能となり、再エネ発電などの出力変動も調整しやすくなる。年間の発電量は30億kWhを見込む。新1号機の燃料は石炭のほか、重量比で約1%にあたる木質バイオマスを約1,000t/年使用。2025年10月からは地域の下水汚泥を乾燥させた固形燃料も活用する方針【四国電力(株)、日本経済新聞：2023/06/30、四国電力(株)ライト&ライフ】

https://www.yonden.co.jp/press/2023/_icsFiles/afieldfile/2023/06/30/pr011.pdf

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQCC3081C0Q3A630C200000/>

https://www.yonden.co.jp/cnt_landl/2307/promenade.html

■北海道滝上町、本年度からCO₂等温室効果ガスの排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボン」実現に向けた取り組みを本格化へ。町国保診療所付近など町内4カ所に木質バイオマスボイラと太陽光パネルを設置し、近隣の公共施設に熱と電気を供給。化石

燃料の削減に向け、町民へ薪ストーブの購入補助金も支給する予定。同町は滝上町ゼロカーボンバイオマスタウン推進計画とともに、地球温暖化対策の推進に関する法律第 21 条第 4 項に基づき、滝上町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）を今年 3 月に策定。令和 5（2023）年度～令和 12（2030）年度の 8 年間で、基準年度（2013 年度）比 50%減を目標としている【北海道新聞：2023/06/30、滝上町：2023/03/31】

<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/870742/>

<https://town.takinoue.hokkaido.jp/shokai/machizukuri/230331.html>

■経産省資源エネ庁、バイオマス持続可能性ワーキンググループ（以下、「WG」）（第 22 回）を 7 月 4 日に開催。議題は①今年度のバイオマス持続可能性 WG の進め方について、②バイオマス燃料のライフサイクル GHG について、③バイオマス持続可能性 WG 第三次中間整理（案）の三点。第三次中間整理（案）は 2022 年度中に WG が、食料競合の懸念が無いと判断された新規燃料と要求する持続可能性基準、ライフサイクル GHG の確認方法、ライフサイクル GHG の既定値、ライフサイクル GHG の基準の適用と発電事業者の実施事項と制度開始について検討してきた経緯と結果を解説したもの。5 月 25 日～6 月 23 日まで意見募集が実施されており、その内容を踏まえ、「バイオマス持続可能性ワーキンググループ第三次中間整理」として 7 月 6 日に公表。詳細は下記を参照【経産省：2023/07/05、2023/07/06】

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinene/shin_energy/biomass_sus_wg/022.html

https://www.meti.go.jp/shingikai/enecho/shoene/shinene/shin_energy/biomass_sus_wg/20230706_report.html

■森林を開発する再生可能エネルギー事業者から独自に税を徴収する全国初の宮城県条例「再生可能エネルギー地域共生促進税条例」が 7 月 4 日、県議会で全会一致で可決し成立。再生可能エネルギー新税では、環境破壊や景観悪化が懸念される太陽光や風力、バイオマス発電施設の建設に 0.5ha を超える森林開発を伴う場合事業者へ課税する。徴収額は営業利益の 2 割相当とし、FIT の売電価格に応じて太陽光は出力 1kW 当たり最低 620 円、風力は同 2,470 円。バイオマスは同 1,050 円。県内で来年 4 月以降、課税対象となり得る再エネ事業は 36 件の予定。これらを平地など「適地」へ誘導することが税の最大の目的で

あり、税収を目的としない極めて異例の新税。新税は使い道を特定しない「法定外普通税」とする考え。同趣旨の都道府県条例は全国初。来年 4 月までの導入を目指す【デーリー東北：2023/07/05、産経新聞：2023/07/15】

<https://www.daily-tohoku.news/archives/174467>

[https://www.sankei.com/article/20230715-](https://www.sankei.com/article/20230715-ZC8K5IDRZRPMTDDL3BXOTJYSY/)

[ZC8K5IDRZRPMTDDL3BXOTJYSY/](https://www.sankei.com/article/20230715-ZC8K5IDRZRPMTDDL3BXOTJYSY/)

■もみ殻を使ったバイオマス地域熱に取り組む秋田県大潟村と再生可能エネルギー 100%の島として知られるデンマーク・サムソ島の非営利団体サムソ・エネルギー・アカデミー、デンマーク王国大使館、村の再エネ事業を手がける地域エネルギー会社（株）オーリスとの 4 者で、脱炭素化に関するパートナーシップ協定を締結（7 月 4 日）。サムソ・エネルギー・アカデミーの代表を務めるソーレン・ハーマンセン氏は、サムソ島の電力を 100%自然エネルギーに転換させた 1 人で、実現までには 1997 年から約 10 年を要した。サムソ島の人口は約 3,700 人。主な産業は「農業」と、大潟村との共通点が多く、島で培ったノウハウの活用に期待がかかる。協定の締結によりサムソ島と相互交流しながら、再エネ施設の運用や住民への啓発、再エネ転換に向けたノウハウを学ぶ【秋田魁新報：2023/07/05、FNNプライムオンライン：2023/07/04】

<https://www.sakigake.jp/news/article/20230705AK0017/>

<https://www.fnn.jp/articles/-/552195>

■イーレックス（株）（東京）、現在運転中の発電所 5 基全てにおいて第三者認証である GGL 認証（Green Gold Label）を取得したと発表。GGL 認証は、グリーンゴールドラベル財団（オランダ）が運営する国際的なバイオマス認証スキームの一つ。木質および農業残渣、廃棄物系木質バイオマス、液体バイオ燃料を対象とし、生産、加工、輸送から最終的にバイオエナジーおよびバイオベース用途に利用するまでのサプライチェーン全体をカバーしている。日本の FIT・FIP 制度においてバイオマス発電燃料として使用される PKS は、2024 年 3 月までに第三者認証の取得が必要となっており、イーレックスは 2020 年 4 月 24 日にイーレックスニューエナジー佐伯（株）（大分）が運営する佐伯発電所で発電事業者として日本初の PKS を対象とした GGL 認証を取得。続いて持分法適用会社である大船渡発電（株）（岩手）の運営する大船渡バイオマス発電所の PKS も GGL 認証を取得。さらに今回、イーレックスニューエナジー（株）

(高知)の土佐発電所、豊前ニューエナジー合同会社(福岡)の豊前バイオマス発電所、沖縄うるまニューエナジー(株)(沖縄)の中城バイオマス発電所で使用する PKS で GGL 認証を取得した【イーレックス(株):2023/07/05、GREEN GOLD LABEL】
<https://www.erec.co.jp/news/information/2478/>
<https://greengoldlabel.com/>

■大東建託(株)(東京)が、(株)関電エネルギーソリューション(大阪)および兵庫県森林組合連合会(兵庫)と兵庫県朝来市にある朝来バイオマス発電所と be 材供給センターの事業譲渡契約を締結したと発表(7月6日)。同発電所は兵庫県、朝来市、(公社)兵庫みどり公社(兵庫、現(公社)ひょうご農林機構)及び関西電力(株)(大阪)、兵庫県森林組合連合会(兵庫)の五者が2013年12月9日付で締結した「木質バイオマス事業計画の推進に関する協定書」に基づき官民協働で取り組んできたもので、2016年12月運開。be 材供給センターを兵庫県森林組合連合会が、発電所は関電子会社の関電エネルギーソリューションが運営。一般家庭1万2千世帯分にあたる3,700kWh/年を発電し、FIT を利用し関電に売電していた。しかし新型コロナウイルス禍に伴うウッドショックで燃料確保が難しく、県森林組合連合会が事業から撤退するとして再開の見込みなしに2022年12月24日に停止。翌12月25日には官民連携の協定も解消し、事業譲渡に向けた検討が行われてきた。契約先となった大東建託は RE100 に加盟し 2040 年までに事業活動で消費する電力を 100%自社発電の再生可能エネルギーにすることを目標に掲げており、今後は発電電力を西日本エリアでの同社グループ事業所に供給。これにより、同社グループにおける再生可能エネルギーの国内導入率は50%に達する見込み。来年度中の再稼働を目指し、事業譲渡に向けた具体的な調整を進めていく予定【大東建託(株)、関西電力(株):2023/07/06、ひょうご経済+:2022/11/30、兵庫県森林組合連合会】

https://www.kentaku.co.jp/corporate/pr/info/2023/release_agobio_230706.html

https://www.kepco.co.jp/corporate/pr/2023/pdf/20230706_1_j.pdf

<https://www.kobe->

<http://www.hyogomori.jp/pdf/biomas1.pdf>

■宮城県石巻市須江の山林に液体バイオマス発電施設の建設を計画している(株)G-Bio イニシアティブ(東京)が2月に経産省から使用燃料に関する改善命令を受け、内容を修正した環境影響評価書の縦覧を開始(7月7日)。同社はFIT 認定取得時は燃料をパーム油としていたが、県の条例に基づく環境影響評価手続きや住民説明会ではポンガミア油を使用するとしていた。修正版には燃料を「パーム油またはポンガミア油」と記載。ポンガミア油は現状 FIT の対象外だが、新たに認められた場合は使用するとしている。出力は10万2,750kW。2024年1月頃着工、2027年4月頃運開予定。環境影響評価書の縦覧は9月21日まで。9月には石巻市と東松島市で説明会を開く予定【河北新報:2023/07/08、(株)G-Bio イニシアティブ:2023/07/07】

<https://kahoku.news/articles/20230708khn000005.html>

<https://g-bio.co.jp/>

■住友林業(株)(東京)傘下で米国の森林アセットマネジメント事業会社 Eastwood Forests, LLC (以下「EF 社」)は森林ファンド「Eastwood Climate Smart Forestry Fund I」を組成し、運用を開始したと発表。ファンドに参画するのは ENEOS(株)(東京)、大阪ガス(株)(大阪)、東京センチュリー(株)(東京)、日本郵政(株)(東京)、日本郵船(株)(東京)、芙蓉総合リース(株)(東京)、(株)三井住友銀行(東京)、三井住友信託銀行(株)(東京)、ユニ・チャーム(株)(東京)と住友林業グループの日本企業10社。資産規模は約600億円で運用期間は15年の計画。同ファンドは参画企業の出資金をもとに今後2027年までに北米を中心に約13万haの森林を購入・管理する。森林資産の取得・売却、森林経営といったファンド運営の全体管理は EF 社が担当。住友林業の100%子会社 SFC アセットマネジメント(株)(東京)がファンド組成及び組成後の出資者とのコミュニケーション等に関し日本側からファンドをサポートする。住友林業グループと参画企業はファンドを通じて森林のCO₂吸収能力を高め、年平均約100万tのCO₂吸収を新たに生み出し、質の高いカーボンプレジットの創出・還元で脱炭素社会の実現に貢献するとしている【住友林業(株):2023/07/10】

<https://sfc.jp/information/news/2023/2023-07-10.html>

■ぎふ西濃グリーンパワー合同会社(岐阜)、4月2日に運開した「ごうどバイオマス発電所」の竣工式を岐阜県神戸町の現地で開催(7月12日)。同社は中部電力(株)(愛知)と丸紅(株)

(東京)の完全子会社である丸紅クリーンパワー(株)(東京)が50%ずつ出資して2020年9月に設立。発電所の出力は7,500kWで年間発電量は一般家庭の約1万7千世帯分に当たる5,300万kWhを想定。発電用燃料の地産地消を目指し、廃材などの木質チップを主に岐阜県内から調達し、約8万t/年を使う【共同通信:2023/07/12、中部電力(株):2023/04/03】
<https://nordot.app/1051782223891645312?c=302675738515047521>
https://www.chuden.co.jp/publicity/press/1210513_3273.html

■小型バイオマス発電機販売のボルター秋田(株)(秋田)に対し、秋田地裁大館支部が7月19日までに特別清算の開始命令。6月30日付。ボルター秋田は2013年、太陽光パネル設置に伴う電気工事を主力に設立。2017年にフィンランド製バイオマス発電機「Volter」の代理店販売を本格化させ、2018年11月期に売上高約1億9,000万円を計上。負債が膨らんで債務超過状態に陥っていた。今年4月28日付でVOLTERに関する事業を、2018年11月より業務提携していたフォレストエナジー(株)(東京)に譲渡。同日付で、ボルター秋田の北秋田市の事務所は「フォレストエナジーカスタマーセンター」として営業を開始。ボルター秋田は5月に解散を決議していた。(株)帝国データバンク(本社・東京)秋田支店によると、負債総額は約10億円の見込み【河北新報:2023/07/19、フォレストエナジー(株):2023/05/01】
<https://kahoku.news/articles/20230719khn000040.html>
<https://forestenergy.jp/2023/05/01/volterakita/>

■戸田建設(株)(東京)、北海道下川町と「地方創生に関する包括連携協定」を締結(7月18日)。同協定では、農業・林業を中心とした地域振興・雇用創出に関する事、脱炭素社会に向けた再生可能エネルギー創出に関する事等の連携事項において相互に協力することを目的としている。具体的には、戸田建設が町内の一の橋で太陽光など再生可能エネルギーを活用し、栽培に取り組んでいる夏秋イチゴを中心とした新しい「下川ブランド」の定着化や、地域雇用の拡大および、下川町障害者支援施設「山びこ学園」等との農福連携の実施、バイオマス熱供給、太陽光発電システムなど再生可能エネルギーを利用した環境負荷低減農業の実践といったことを行う予定【戸田建設(株):2023/07/19、北海道新聞:2023/07/21】
https://www.toda.co.jp/news/2023/20230719_003230.html
<https://www.hokkaido-np.co.jp/article/881380>

■(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会、同協会が運営する「WOOD BIO(木質バイオマス熱利用プラットフォーム)」WEBサイト内に「WOOD BIOサポート申込窓口」を設置。(1)木質バイオマスの熱利用に関する事業構想段階での支援、(2)木質バイオマスの熱利用に関するFS調査、基本設計段階でのセカンドオピニオン希望者に専門家がサポートを行うもの。下記サイトより申し込み可能【(一社)日本木質バイオマスエネルギー協会:2023/07/26】
<https://jwba.or.jp/topics/info/topics20230726/>

2. ペレット関連情報

■(株)ユー・イー・エス(大阪)、木質バイオマス発電所から排出されるバイオ炭を有効活用し、機能性炭製品を開発。バイオ炭はバイオマスを炭化させることで炭素を固定化し長期間にわたって安定して保持することが可能。しかし現場で使用するには炭は作業性が悪く真っ黒な粉塵が舞い上がるといった点があり、同社が長年の活性炭製造で培ってきた様々な加工技術や触媒技術等をバイオ炭に取り込んで性能を向上。さらに造粒加工して取扱性をアップさせた「SDGsペレット炭」に仕上げた。炭シリーズ「SDGsペレット炭」は豊富なラインナップで土壌改良や床下調湿等、幅広い用途に活用可能。20kgのフレコンバッグ入りで販売されている【日刊工業新聞:2023/06/27、

(株)ユー・イー・エス】
<https://www.nikkan.co.jp/articles/view/00677449>
<https://cocowork.com/index.html>

■ユーロストーブ(神奈川)、ペレットストーブのアウトレット品を販売中。ユーロストーブはテルモロッシのペレットストーブ、ペレットボイラ、薪ストーブの他、ヨーロッパメーカーのペレットバーナ、貯湯タンクの総輸入元を務める(有)河西(神奈川)のブランド。今回、旧型となったテルモロッシ(イタリア)社のペレットストーブET5000サーモコンフォート、ET3000を安価でアウトレット販売する。問い合わせは近くの

テルモロッシ代理店エコサーモフレンズか、ユーロストーブまで【ユーロストーブ（[有]河西）：2023/06/29、2023/07/07】
<https://www.pellet-stove.jp/>

■（株）三菱 UFJ 銀行（東京）、テスホールディングス（株）（大阪）との間で伊万里バイオマス発電事業開発資金を資金使途とした「グリーンローン」によるシンジケーション型実行可能期間付タームローン契約を締結（6月30日）。組成金額は200億円。貸出人は（株）伊予銀行（愛媛）、（株）関西みらい銀行（大阪）、（株）佐賀銀行（佐賀）、（株）山陰合同銀行（島根）、（株）滋賀銀行（滋賀）、（株）南都銀行（奈良）、（株）百十四銀行（香川）、（株）みずほ銀行（東京）、（株）三井住友銀行（東京）、三菱 UFJ 銀行、（株）山口銀行（山口）の11行。発電所は佐賀県伊万里市黒川町の伊万里港七ツ島地区で建設が進められているもので、木質ペレットを主な燃料とし、発電出力は46,000kW。年間発電量は一般家庭約10万世帯分の約3億1,200万kWhを見込み、九州電力送配電（株）（福岡）に売電する。テス・エンジニアリング（株）（大阪）の子会社「（株）伊万里グリーンパワー」（佐賀）が事業主体。設備投資額は約320億円。2025年5月の運開を目指している【（株）三菱 UFJ 銀行：2023/06/30、佐賀新聞：2022/02/17】
https://www.bk.mufg.jp/houjin/info/pdf/tess_hd_seiyaku.pdf
<https://www.saga-s.co.jp/articles/-/812884>

■バイオマス発電事業を巡り、商社部長が融資金10億円の連帯保証契約偽装に関与。東京の鉄鋼建材商社「伊藤忠丸紅住商テクノスチール（株）」（東京）が警視庁に相談していることが判明。融資を受けたコンサルタント会社は再生可能エネルギー関連事業を手がける「JEP」（東京）。JEPは「大分市の山林を開発して木質ペレットなどを燃料にする発電施設を建設する」という計画で、「クラウドバンク・フィナンシャルサービス（株）」（東京）に融資を申し込んだ。JEPの実質的オーナーを兼ねていたのがテクノ社の元土木建材部長。テクノ社はこの計画を把握せず、もともと再生可能エネルギー事業とは無関係だったが、元部長が独断で融資の連帯保証契約を進めていた。元部長は架空の取締役会議事録を作成した疑いがあり、刑事事件に発展する可能性も【東京新聞：2023/07/05】
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/260996>

■岐阜県関市で20年前に廃校となった小学校の校舎と体育館が木質ペレットストーブの生産拠点に。豊実精工（株）（岐阜）が2003年3月に廃校となった「旧上之保東小学校」の改修作業を進めていたもので、7月6日に竣工式を開催。同社は7月10日から木質ペレットストーブの生産拠点を「上之保工場」に移転。廃校舎の延べ床面積1,200㎡は事務所やショールーム、研究施設として使い、体育館566㎡は組立工場に活用する。改修費は6,000万円。現在は市から敷地や建物を借りているが、本年度中に購入する予定。工場の周辺は建築材の産地となっており、同社は今後、地元の企業と連携を図り端材からペレットを生産することも検討中【NHK NEWS WEB：2023/07/06、中日新聞：2023/07/07、豊実精工（株）：2023/7月】
<https://www3.nhk.or.jp/lnews/gifu/20230706/3080011643.html>
<https://www.chunichi.co.jp/article/723991?rct=gifu>
<https://pellestar.jp/news>

■（株）e5 ラボ（東京）および三菱重工グループの三菱造船（株）（神奈川）が普及を目指す「内航標準ハイブリッドEV船」のデザインを採用した、総トン数499tのバイオマス燃料輸送船「あすか」が6月30日に竣工。建造造船所である本田重工業（株）（東京）から旭タンカー（株）（東京）に引き渡された。あすかは総合物流（株）上組（兵庫）が神戸港から相生市にある「相生バイオマス発電所」までの内航輸送に採用。相生バイオマス発電所は関西電力（株）（大阪）と三菱商事クリーンエナジー（株）（東京）が出資する相生バイオエナジー（株）（兵庫）が運営し、発電出力が20万kW、発電電力量は約13.5億kWh/年（一般家庭約43万世帯の年間電気使用量に相当）。今年3月24日から運開している。あすかは神戸港に回航され操業の準備が整ったのち、バイオマス発電所向けの木質ペレット輸送船として就航する。あすかには三菱造船が開発し、Marindows（株）（東京）を通じて内航海運への普及を目指す、タブレット端末を利用したポータブル運航支援システム「ナビコ」を搭載。ナビコは今後パイロット試験を経て、2024年4月から春から販売開始予定【三菱重工業（株）、旭タンカー（株）：2023/07/07、OSR No.570：2023/07/19】
<https://www.mhi.com/jp/news/23070702.html>
<https://www.asahi-tanker.com/news-release/2023/1861/>

■シン・エナジー（株）（兵庫）、7月7日に兵庫県朝来市で計画中の小規模木質バイオマス発電事業について、地鎮祭を実施。同発電所は地元の（株）山田林業（兵庫）が過半出資する播磨基礎電源（株）（兵庫）と地元の建設会社グローバル建設（株）（兵庫）とシン・エナジーの3社で共同設立した「生野銀山バイオマス（株）」（兵庫）が発電事業を行うもの。ドイツのBEW（BIOENERGIE WEGSCHEID GMBH）社製の熱電併給装置を採用し、発電定格出力900kW（150kW×6台連結）の設備を導入。年間発電量は約7,000MWh（一般家庭の約1,600世帯分）。発電効率は推定28%、熱利用も含めると総合エネルギー効率は最大で83%程度の見込み。燃料供給は山田林業と地元林業事業者等が行い、兵庫県の未利用材のみで約10,000t/年の木材をチップに加工して使用。発電所の運営も山田林業が担う。発電した電力はFIT制度を利用し、関西電力送配電（株）（大阪）へ全量売電。発電時に生まれる熱は発電所併設の燃料製造工場へ供給し、木質チップまたは薪の乾燥に利用する他、微細チップを乾燥させてペレットまたはブリケットを作る計画もある。余剰生産する木質チップの近隣熱需要家施設での利用や、発電時に副産物として生まれるバイオ炭（チャー）の農業利用も推進する。工事施工業者はシン・エナジーで、2023年8月着工予定、2024年春発電開始予定【シン・エナジー（株）：2023/07/07】

<https://symenergy.co.jp/news/release/20230707-8142.html?id=newsCategory>

■イーレックス（株）（東京）、ベトナム国で計画を進めていた木質ペレット工場「イーレックス・サクラ・バイオマス・イェンバイ工場」の起工式を開催（7月6日）。ベトナム国イェンバイ省で新設するバイオマス発電所建設に先立ち、未利用となっている木質残渣等を木質ペレットに加工し、主に発電用燃料として活用、販売する事を目的として同省の約3haの敷地に加工工場、原木ヤード、管理事務所を建設する。工場の製造能力は15万t/年。製造した木質ペレットは石炭火力発電所から排出されるCO₂の削減を目的とし、同社が検討を行っている石炭火力トランジション（フューエルコンバージョン）への活用も検討する。サクラグリーンエナジー合同会社（ベトナム国）との共同事業。総投資額2,040万USD。2024年9月完成、2025年1月販売開始予定。またイーレックスは同国トゥエンクアン省においてもペレットを製造する「イーレックス・サクラ・トゥエンクアンバイオマス工場」の建設に着手する計画で、今夏起工式を実施予定。この2工場で作られたペレットは日本に

も輸出されるもよう【イーレックス（株）：2023/07/10】

https://www.erec.co.jp/wp-content/uploads/2023/07/IR_20230710.pdf

https://www.erec.co.jp/wp-content/uploads/2023/07/IR_Biomass_20230710.pdf

■遠野興産（株）（福島）の大型木質ペレット工場、2018年6月の竣工から丸5年が経過し、生産と需要がともに拡大、安定。同社は福島県いわき市にある岩石工場で、石炭混焼発電所用および一般家庭用の木質ペレットを製造。木質ペレット「温丸（ぬくまる）」は福島県内の森林からでる杉を原料とする木部ペレット（ホワイトペレット）で、605円/10kg袋（税込・配送料別途）。国内最大級の製造工場で、現在は1,200~1,500t/月程製造しており、需要に応じて2,000t程度まで増やす予定【日刊木材新聞社：2023/07/13、遠野興産（株）】

https://jfpj.jp/mokuzai_news/27444

<https://www.toono-group.com/works/toono/nukumaru/>

■総合化学メーカーの東ソー（株）（本社・東京）、同社南陽事業所（山口県周南市）でバイオマス発電所建設の安全祈願祭を実施（7月12日）。南陽事業所にある既存の自家発用火力発電所では主に石炭を使用していたがこれを廃止し、バイオマスを主燃料とした「第2発電所第7号発電設備（7B）」を新設する。7Bは同事業所内の2万7千㎡の空き地に建設し、建設費用は約400億円。出力は7万4,000kW。建築廃材や木質ペレットなどのバイオマス燃料や古紙や廃プラスチックを原料とする固形燃料（RPF）を主に使用。7Bの燃料使用量は、最初は年間で石炭8万t、バイオマスとRPFの計28万tを見込むが、2030年度までには石炭をなくし、バイオマスとRPFだけで41万tとする。将来的なバイオマス専焼を織り込んだ発電設備は同社では初。年間で約50万tのCO₂排出量の削減が期待できる。7Bの稼働後は1963年に設置された出力6万2,300kWの石炭火力発電設備を廃止し、他の発電設備もバイオマスとの混焼比率を上げる。2030年度には温室効果ガスの排出量を2018年度比30%削減する【中国新聞：2023/07/12、日刊新周南：2023/07/14、東ソー（株）：2022/07/22】

<https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/331456>

<https://www.shinshunan.co.jp/news/economy/shunan/202307/029273.html>

<https://www.tosoh.co.jp/news/release/2022/20220727.html>

■群馬県上野村で行われている再生可能エネルギーの「ダブル発電」に脚光。同村では2015年にバイオマス発電所を導入し、村面積の95%以上を占める森林から出る間伐材を砕いて加工した木質ペレットを使用。発電所の出力は180kW。併設する「村きのこセンター」に供給され、約400t/年のシイタケを栽培。木質ペレットの一部は温浴施設などのボイラ燃料としても利用。一連のバイオマス事業で150人の雇用と、12億円程度の経済効果が生まれているという。水力発電の拠点は東京電力リニューアブルパワー（株）（東京）の「神流川発電所」。2005年に1号機が、2012年に2号機が稼働し、出力は計94万kW。首都圏で電気が不足する際に稼働し、一般家庭30万世帯分の電力がまかなえる。村産業情報センターが主催するバイオマスと水力の発電所を巡る見学ツアーも好評で、脱炭素社会の実現へ小さな村が秘めた大きな可能性に期待が集まっている【読売新聞：2023/07/13】

<https://www.yomiuri.co.jp/local/gunma/news/20230712-OYTNT50198/>

■福島県棚倉町で環境に優しい次世代型循環農法始動。水槽でスッポンを育て、排せつ物を微生物が栄養素に分解し、その養分を含んだ水でトマトを育てるという水産養殖と水耕栽培を同時に行う循環型農法「アクアポニックス」を、町内で木質ペレットを製造・販売する（株）シーズが手掛ける。新農法を取り入れるきっかけは自社の木質ペレット製造。小型木質ガス化熱電併給（CHP）装置で作られた熱をハウスと水槽に活用することで、アクアポニックスに必要な温度・水温管理を効率良く実現できる。トマトハウスは約400㎡で3種類計500本を既に実証栽培しており、新たに約800本の苗を定植する。10月頃に収穫を始め、町内で販売。スッポンは昨年9月に約700匹の養殖を開始し、来冬にも出荷できる見通し。首都圏を中心に町内外の飲食店に提供する方針で、ふるさと納税返礼品としても想定【福島民報：2023/07/16】

<https://www.minpo.jp/news/moredetail/20230716108770>

※OSR：バイオマス・再エネ等の専門情報誌「オンサイト・レポート」の略

3. イベント情報（国内）

※新型コロナウイルスの影響により、イベント、展示会で急遽中止や延期を決定される場合があります。開催の有無については各ウェブサイト等で最新情報を確認するようにしてください。

◎：木質ペレット燃料、ストーブ、ボイラの関連イベント

◎NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）、他「バイオマス国際ウェビナー『米国木質ペレット工場による大気汚染排出と健康被害』」

2023年8月9日（水）

ウェビナー

<https://www.gef.or.jp/news/event/230809biomasspollution/>

■WOOD コレクション実行委員会「WOOD COLLECTION 2023『JAPAN ReWOOD』」

2023年8月18日（金）～20日（日）

東京ビッグサイト（西3ホール）（東京都江東区）

<https://www.japan-rewood.com/2023/>

■（一社）日本木質バイオマスエネルギー協会「WOOD BIO 交流プラットフォーム 第1回 WEB 勉強会」

2023年8月24日（木）

Zoom

<https://jwba.or.jp/topics/events/topics20230705/>

■NPO 法人農都会議勉強会「地域のエネルギー自給と脱炭素化～地域づくりと地域経済を意識した取組への展開～」

2023年8月28日（月）

オンライン開催（Zoom など利用）

<https://blog.canpan.info/bioenergy/archive/400>

■NPO 法人バイオマス産業社会ネットワーク（BIN）第216回研究会「自治体との連携による地産地消&レジリエンス対応型の木質バイオマス熱電併給プロジェクト（仮題）」

2023年8月29日（火）

地球環境パートナーシッププラザ（GEOC）（東京都渋谷区）

/ZOOMによるオンライン

<https://www.npobin.net/activity/seminar.html#216>

■BECC JAPAN「BECC JAPAN 2023」

2023年8月30日(水)

早稲田大学西早稲田キャンパス(東京)

<https://seeb.jp>

■環境省「地域脱炭素ネットワークイベント」

2023年8月31日(木)

東京国際フォーラム(東京都千代田区)

https://www.env.go.jp/press/press_01554.html

■(公財)SOMPO環境財団「市民のための環境公開講座2023

(4)日本の森って、どんな森?所有と利用と、その先へ」

2023年9月6日(水)

オンライン

<https://www.sompo-ef.org/kouza/kouza2023/>

■(株)新社会システム総合研究所「進むバイオ燃料の利用

拡大 国内外動向と我が国の政策」

2023年9月12日(火)

SSK セミナールーム(東京都港区)

<https://www.ssk21.co.jp/S0000103.php?gpage=23469>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年9月13日(水)~15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.decarbonization-expo.jp/hub/ja-jp.html>

■RX Japan(株)スマートエネルギーWeek 秋「第1回グリーンファクトリーEXPO 秋~脱炭素・サステナブル工場の実現へ~」

2023年9月13日(水)~15日(金)

幕張メッセ(千葉県千葉市)

<https://www.fiweek.jp/autumn/ja-jp/about/gfe.html>

■(一社)日本能率協会「九州エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年9月26日(火)~27日(水)

マリンメッセ福岡 B館(福岡県福岡市)

<https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index.html>

■(一社)日本木工機械工業会「日本木工機械展 Mokkiten Japan 2023」

2023年10月5日(木)~7日(土)

ポートメッセなごや(愛知県名古屋市)

<https://mokkiten.com/>

■REIF Fukushima 2023 運営事務局「第12回 Fukushima 再生可能エネルギー産業フェア(REIF Fukushima 2023)」

2023年10月12日(木)~13日(金)

ビッグパレット Fukushima(福島県郡山市)

<https://reif-fukushima.jp/>

■(一社)日本能率協会「北海道エネルギー技術革新 EXPO 2023」

2023年10月18日(水)~19日(木)

アクセスサッポロ(北海道札幌市)

https://www.jma.or.jp/infra/energy/outline/index_h.html

■諏訪圏工業メッセ 2023

2023年10月19日(木)~21日(土)

岡谷市民総合体育館/テクノプラザおかや(いずれも長野県岡谷市)

<https://suwamesse.jp/>

■(一社)林業機械化協会「2023 第46回全国育樹祭開催記念行事森林・林業・

環境機械展示実演会」

2023年11月12日(日)~13日(月)

笠松運動公園(茨城県ひたちなか市)

<https://www.rinkikyo.or.jp/>

■RX Japan(株)関西スマートエネルギーWeek 秋「脱炭素経営 EXPO」

2023年11月15日(水)~17日(金)

インテックス大阪(大阪)

<https://www.decarbonization-expo.jp/osaka/ja-jp.html>

■（一社）日本能率協会「Japan Home & Building Show 2023」
2023年11月15日（水）～17日（金）
東京ビッグサイト東展示棟（東京都江東区）
<https://www.jma.or.jp/homeshow/tokyo/>

■（一社）サステナブル経営推進機構「エコプロ 2023」
2023年12月6日（水）～8日（金）
東京ビッグサイト東ホール（東京都江東区）
<https://messe.nikkei.co.jp/ep/>

■脱炭素チャレンジカップ事務局「脱炭素チャレンジカップ 2024」
2024年2月6日（火）
伊藤謝恩ホール（東京都文京区）
<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

■RX Japan(株)「第9回【国際】バイオマス展【春】」
2024年2月28日（水）～3月1日（金）
東京ビッグサイト（東京都江東区）
<https://www.wsew.jp/hub/ja-jp/about/bm.html>

■RX Japan（株）スマートエネルギーWeek 春
2024年3月1日（水）～3日（金）
東京ビッグサイト（東京都江東区）
<https://www.wsew.jp/spring/ja-jp.html>

◎2024NEW 環境展/2024 地球温暖化防止展
2024年5月22日（水）～24日（金）
東京ビッグサイト（東京都江東区）
<https://www.n-expo.jp/>

4. イベント情報（海外）

■North American SAF Conference & Expo
2023年8月29日（火）～30日（水）
ミネソタ州ミネアポリス（USA）
<https://saf.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home>

◎Svebio Fuel Market Day 2023
2023年9月6日（水）
ストックホルム（スウェーデン）
<https://www.svebio.se/en/evenemang/svebio-fuel-market-day-2023/>

■ADBA Northern Ireland Conference 2023
2023年9月7日（木）
ベルファスト（北アイルランド）
<https://adbioresources.org/events/northern-ireland-conference-2023/>

■ADBA Scottish Conference 2023
2023年9月19日（火）
エディンバラ（スコットランド）
<https://adbioresources.org/events/scottish-conference/>

◎Advanced Biofuels Conference 2023
2023年9月20日（水）～21日（木）
イエーテボリ（スウェーデン）
<https://www.svebio.se/en/evenemang/advanced-biofuels-conference-2023/>

■Transport Biofuels
2023年9月27日（水）～28日（木）
ウオフフ（ポーランド）
<https://kib.pl/en/konferencja-2/>

■Biogas PowerON
2023年9月27日（水）～28日（木）
ハンブルグ（ドイツ）
<https://fortesmedia.com/biogas-poweron-2023,4,en,2,1,26.html>

■WASTECON 2023
2023年9月27日（水）～29日（金）
マサチューセッツ州ボストン（USA）
<https://swana.swoogo.com/wastecon2022/>

◎Bioenergy Heating International Training Seminar

2023年10月2日（月）～5日（木）

リンツ（オーストリア）

<https://www.cleantechcluster-energie.at/en/bioenergy-heating>

■Bioenergy Pavilion 2023

2023年10月4日（水）～6日（金）

グレーター・ノイダ（インド）

<https://biogas-india.com/bio-energy-pavilion-2023/>

■IGEM 2023 - International Greentech & Eco Products Exhibition & Conference

2023年10月4日（水）～6日（金）

クアラルンプール（マレーシア）/オンライン

<https://www.igem.my/>

■UK Green Gas Day2023

2023年10月11日（水）

ソリフル（UK）

<https://www.r-e-a.net/events/uk-green-gas-day/>

■Biomass PowerON 2023

2023年10月11日（水）～12日（木）

ストックホルム（スウェーデン）

<https://fortesmedia.com/biomass-poweron-2023,4,en,2,1,25.html>

■USIPA 2023 Conference

2023年10月16日（月）～18日（水）

フロリダ州マイアミ（USA）

<https://theusipa.org/2023-conference>

■European Biomethane Week 2023

2023年10月24日（火）～25日（水）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://www.europeanbiogas.eu/european-biomethane-week-2023/#:~:text=4th%20week%20of%20October%20across,October%3A%20Flagship%20event%20in%20Brussels>

■All Energy Australia 2023

2023年10月25日（水）～26日（木）

メルボルン（オーストラリア）

<https://www.all-energy.com.au/en-gb.html>

■National Carbon Capture Conference & Expo

2023年11月7日（火）～8日（水）

アイオワ州デモイン（USA）

<https://nccc.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pageld=Home>

■Smart City Expo World Congress

2023年11月7日（火）～9日（木）

バルセロナ（スペイン）

<https://www.smartcityexpo.com/>

■ECOMONDO 2023

2023年11月7日（火）～10日（金）

リミニ（イタリア）

https://unb.ecomondo.com/visit-2023/?utm_source=referral&utm_medium=banner&utm_campaign=Woodcote+Media+Publications

■The Future of Biogas Europe Summit 2023

2023年11月22日（水）～23日（木）

アムステルダム（オランダ）

<https://www.wplgroup.com/aci/event/future-biogas-europe/>

■The European Bioenergy Future 2023 (EBF2023)

2023年11月28日（火）～30日（木）

ブリュッセル（ベルギー）

<https://bioenergyeurope.org/events/11-events/385-the-european-bioenergy-future-2023-ebf2023.html>

■2023 UN Climate Change Conference (UNFCCC COP 28)

2023年11月30日（木）～12月12日（火）

ドバイ（アラブ首長国連邦）

<https://sdg.iisd.org/events/2022-un-climate-change-conference-unfccc-cop-28/>

■Progress in Manure & Digestate

2023年12月5日(火)～7日(木)

オンライン

<https://ibbk-biogas.com/schedule/online-conference-progress-manure-digestate-treatment/>

■bio 360 Expo 2024

2024年1月24日(水)～25日(木)

ナンテ(フランス)

<https://bio360expo.com/>

■Progetto Fuoco

2024年2月28日(水)～3月2日(土)

ヴェローナ(イタリア)

<https://www.progettofuoco.com/en/>

■2024 International Biomass Conference & Expo

2024年3月4日(月)～6日(水)

ヴァージニア州リッチモンド(USA)

[https://2024-](https://2024-ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home)

[ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home](https://2024-ibce.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home)

■WFES 2024 – World Future Energy Summit

2024年4月16日(火)～18日(木)

アブダビ(アラブ首長国連邦)

<https://www.worldfutureenergysummit.com/>

■BOILER 2024 | ABMA Boiler Technology Conference & Expo

2024年5月1日(水)～3日(金)

コロラド州デンバー(USA)

<https://abmaboilerexpo.com/>

■Waste Expo

2024年5月6日(月)～9日(木)

ネバダ州ラスベガス(USA)

<https://www.wasteexpo.com/en/home.html>

■Carbon Capture & Storage Summit

2024年6月10日(月)～12日(水)

ミネソタ州ミネアポリス(USA)

http://fuelethanolworkshop.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Carbon_Capture_Storage_Summit

■International Fuel Ethanol Workshop & Expo

2024年6月10日(月)～12日(水)

ミネソタ州ミネアポリス(USA)

<https://few.bbiconferences.com/ema/DisplayPage.aspx?pagelid=Home>

■Biodiesel Summit: Sustainable Aviation Fuel & Renewable Diesel

2024年6月10日(月)～12日(水)

ミネソタ州ミネアポリス(USA)

<https://few.bbiconferences.com/Biodiesel.html>

5. 2023年度ペレットストーブ、ボイラ補助金情報(都道府県順)

※締切や公募の条件等の詳細は各自自治体にお問い合わせください。

◇: ストーブ

◆: ストーブ・ボイラ共

【北海道】

◇浦幌町「浦幌町木質ペレットストーブ導入支援事業補助金」

https://www.urahoro.jp/soshiki_shigoto/sangyoka/syokokanko/2023-0214-0833-146.html

【岩手】

◇八幡平市「木質燃料等利用設備設置事業費補助金」

<https://www.city.hachimantai.lg.jp/soshiki/nourin/1074.html>

【宮城県】

◆加美町「令和5年度木質バイオマス推進事業補助金」

<https://www.town.kami.miyagi.jp/soshikikarasagasu/shinrinseibitaisakushitsu/ringyo/1939.html>

【秋田】

◇鹿角市「木質バイオマス熱利用設備導入支援補助金」
<https://www.city.kazuno.akita.jp/soshiki/sangyokatsuryoku/zeroka-bon/gyoumuannai/10298.html>

〔山形〕

◇大石田町「令和5年度大石田町再生可能エネルギー設備導入事業」
<https://www.town.oishida.yamagata.jp/life/gomikankyopet/seikatu2021saiene.html>

◇小国町「令和5年度小国町省エネ設備導入緊急支援事業費補助金」
<https://www.town.oguni.yamagata.jp/soshiki/sangyo/2617.html>

【福島】

◇大玉村「大玉村住宅用再生可能エネルギー設備設置費補助」
https://www.vill.otama.fukushima.jp/gyousei_jouhou/kakusyushienjigyuu/seikatukankyuu/

◇矢祭町「矢祭町再生可能エネルギー推進事業補助金」
<https://www.town.yamatsuri.fukushima.jp/page/page000552.html>

【新潟】

◇妙高市「令和5年度妙高市家族と環境にやさしい住宅取得等支援事業」
<https://www.city.myoko.niigata.jp/docs/4807.html>

【富山】

◆南砺市「南砺市ペレットボイラー等設置事業補助金」
<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=26355>

【山梨】

◇甲府市「クリーンエネルギー機器普及助成金制度」
<https://www.city.kofu.yamanashi.jp/kankyohozen/machi/kankyo/shisaku/20130328.html>

◇南アルプス市「南アルプス市エコライフ促進補助金」
<https://www.city.minami-alps.yamanashi.jp/docs/1397.html>

【長野】

◇安曇野市「令和5年度安曇野市ペレットストーブ導入促進事業補助金」
<https://www.city.azumino.nagano.jp/soshiki/30/60855.html>

◆飯田市「令和5年度飯田市ペレットストーブ・ペレットボイラー設置補助金」
<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/2021perextutohojo.html>

◆飯田市「令和5年度飯田市薪ストーブ・薪ボイラー・竹ボイラー設置補助金」
<https://www.city.iida.lg.jp/site/ecomodel/2021makitakehojo.html>

◆上田市「令和5年度ペレットストーブ、ペレットボイラーの購入費補助」
<https://www.city.ueda.nagano.jp/soshiki/sinrin/1469.html>

◇軽井沢町「令和5年度木質バイオマス循環利用普及促進事業（ペレットストーブ設置事業）補助金」
<https://www.town.karuizawa.lg.jp/www/contents/1575445888146/index.html>

◇下諏訪町「下諏訪町木質バイオマス循環利用促進事業補助金」
<https://www.town.shimosuwa.lg.jp/www/contents/1499047967809/index.html>

◇中野市「ペレットストーブ等購入助成金」
<https://www.city.nakano.nagano.jp/docs/2020062400011/>

◆南箕輪村「住宅用新エネルギー施設設置補助金」
<https://www.vill.minamimino.lg.jp/soshiki/jyumin/jyutakuyoutaiyoukou.html>

◆山形村「ペレットストーブ等の購入経費補助」
<https://www.vill.yamagata.nagano.jp/docs/5258.html>

【兵庫】

◆丹波市「令和5年度丹波市薪ストーブ・薪ボイラー設置補助金」

<https://www.city.tamba.lg.jp/site/kankyouka/r5makiboira-suto-bu.html>

※対象は薪ストーブ、薪ボイラ

6. 公募等情報（締切順）

■（一社）環境技術普及促進協会「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金 民間企業等による再エネ主力化・レジリエンス強化促進事業（2）新たな手法による再エネ導入・価格低減促進事業に係る⑤熱分野・寒冷地での脱炭素化先行モデル創出事業」
二次公募 2023年7月14日（金）～8月10日（木）
http://www.eta.or.jp/offering/23_09_nemdl/230522.php

■（一社）環境共創イニシアチブ「令和4年度補正予算 省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業公募情報（3次公募）」
公募期間 2023年7月10日（月）～8月25日（金）
<https://sii.or.jp/senshin04r/overview3.html>

■（公財）滋賀県産業支援プラザ「令和5年度省エネ・再エネ等設備導入加速化補助金」
3次締切：8月31日（木）
4次締切：9月29日（金）
最終締切：10月31日（火）
<https://www.shigaplaza.or.jp/hojokin-co2-230630/>

■（公社）環境生活文化機構「2023年度持続可能な社会づくり活動表彰募集」
応募締切 2023年8月31日（木）
<https://www.elco.or.jp/publics/index/29/>

■福島県「福島県における再生可能エネルギーの導入促進のための支援事業費補助金（地域活用型再生可能エネルギー導入支援事業）について」
公募期間 2023年5月10日（水）～9月6日（水）
<https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/11025c/katsuyo-r5.html>

■（公社）日本フィランソロピー協会「TOYO TIRE グループ環境保護基金」
募集期間 2023年6月30日（金）～9月29日（金）
<https://www.philanthropy.or.jp/toyotires/2024/>

■脱炭素チャレンジカップ事務局「『脱炭素チャレンジカップ2024』エントリー募集中」（団体エントリー）
応募締切 2023年9月29日（金）

<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

■農水省「令和5年度バイオマス産業都市構想の提案を募集」
募集期間 2023年6月15日（木）～10月31日（火）
https://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/r_energy/230615.html

■脱炭素チャレンジカップ事務局「『脱炭素チャレンジカップ2024』エントリー募集中」（アイデア賞）
応募締切 2023年11月30日（木）
<https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

■新潟県「令和5年度新潟県再生可能エネルギー設備導入促進事業補助金（二次公募）」
公募期間 2023年6月28日（水）～12月15日（金）
<https://www.pref.niigata.lg.jp/sec/sogyosuishin/1356915935143.html>

■奈良県「令和5年度地域エネルギー資源活用支援事業補助金」
募集期間 2023年6月30日（金）～12月22日（金）
<https://www.pref.nara.jp/55628.htm>

■広島県「令和5年度広島県創エネ・省エネ設備導入促進補助金の公募のお知らせ（幼稚園・保育所・認定こども園等対象）」
受付期間 2023年12月28日（木）まで
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/eco/04setubihojokin.html>

■（公社）日本フィランソロピー協会「SDGs貢献プロジェクト」
受付 2023年12月1日（金）～31日（日）
<https://www.philanthropy.or.jp/jt/>

■静岡県浜松市「浜松市木質バイオマス設備導入支援事業費補助金」

受付期間 2023年4月21日(金)~2024年1月31日(水)

https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/shin-ene/new_ene/mokushitsuojokin.html

■栃木県「今すぐ始められる脱炭素の取組を紹介します！(脱炭素普及啓発事業)」

募集期間 2023年4月12日(水)~2024年2月中旬まで

<https://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/hukyuukehatsu.html>

■長野県塩尻市「塩尻市木質バイオマス利用設備設置費等補助金(ペレットストーブ、ペレットボイラー用燃料)」

申請書受付期間 2023年4月3日(月) ~ 2024年3月15日(金)

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/30/2997.html>

■兵庫県宍粟市「宍粟市再生可能エネルギー利用促進事業補助金(木質バイオマス燃料製造設備導入費用助成)」

受付期間 2023年4月3日(月) ~ 2024年3月15日(金)

<https://www.city.shiso.lg.jp/soshiki/sangyo/rinngyousinnkou/tanntoujyouhou/shinenerugi/1515747696234.html>

■農水省大臣官房環境バイオマス政策課「農林漁業バイオ燃料法に基づく事業計画、支援措置(固定資産税の特例等)」

固定資産税の特例の適用期限 ~ 2024年3月31日(日)まで

<https://www.maff.go.jp/j/shokusan/bio/nenryoho/>

■長野県松本市「松本市再生可能エネルギー導入支援事業補助金」

<https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/4407.html>

■千葉県南房総市「南房総市施設園芸木質バイオマス暖房機等設置費等補助金」

<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000007149.html>

■高知県「高知県木質資源利用促進事業費補助金」

<https://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/030501/2019022200068.html>

■高知県「再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/610301/2015060100117.html>

■高知県香南市「香南市燃料タンク対策事業費補助金」

http://www.city.kochi-konan.lg.jp/reiki_int/reiki_honbun/r254RG00001291.html

■高知県仁淀川町「仁淀川町再生可能エネルギー利活用事業費補助金」

http://www.town.niyodogawa.lg.jp/reiki/reiki_honbun/r191RG0000129.html#e000000030

■北海道「林業・木材産業改善資金」

<http://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/rrm/kaizennshikinn.pdf>

■滋賀県甲賀市「再生可能エネルギー地域導入促進事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/6567.htm>

■滋賀県甲賀市「甲賀市公共施設等再生可能エネルギー導入事業補助金」

<https://www.city.koka.lg.jp/7406.htm>

■富山県南砺市「南砺市木質ペレット燃料普及拡大推進事業補助金」

<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=24564>

■富山県南砺市「南砺市木質ペレット燃料高騰対策事業補助金」

<https://www.city.nanto.toyama.jp/cms-sypher/www/service/detail.jsp?id=25479>

■栃木県「栃木県環境保全資金(省エネ設備等の導入)」

<http://www.pref.tochigi.lg.jp/d02/eco/kankyuu/ondanka/syouene-setubi-yuusi.html>

※融資制度

■徳島県「自然エネルギー立県とくしま推進資金貸付制度」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kurashi/shizen/5007685/>

※融資制度

■奈良県「新エネルギー等対策資金」

<http://www.pref.nara.jp/23346.htm>

※融資制度

■（公財）日本環境協会「令和2年度環境配慮型融資促進利子補給事業」

https://www.jeas.or.jp/activ/prom_24_00.html

※融資制度

■神奈川県横浜市「よこはまプラス資金（環境・エネルギー対策）」

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/bunyabetsu/kankyo-koen-gesui/plus/hozenshikin.html>

※融資制度

■富山県「脱炭素社会推進資金（再生可能エネルギー利用促進枠）」

<https://www.pref.toyama.jp/1300/sangyou/shoukoukensetsu/shoukougyou/kj00012293/kj00012293-008-01.html>

※融資制度

■富山県「富山県中小企業脱炭素社会推進資金環境施設整備枠融資制度」

<https://www.pref.toyama.jp/1705/kurashi/kankyoushizen/kankyou/kj00006264.html>

※融資制度

■千葉県「環境保全資金（制度全般事業認定）」

<https://www.pref.chiba.lg.jp/shigen/chikyukankyou/ne/shien-jigyousha.html>

■千葉县市原市「市原市企業立地促進条例」

<http://www.city.ichihara.chiba.jp/kanko/0205sangyou/kigyourittigaido.html>

■（独）農林漁業信用基金「災害で被災された方の支援について（新型コロナウイルス感染症による影響を含む）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/shien/index.html>

■（独）農林漁業信用基金「新たに林業・木材産業の事業を立ち上げる方（新たに開始する方、他産業から参入する方）への支援について（林業・木材産業の創業等支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214551.html>

■（独）農林漁業信用基金「林業・木材産業の複合経営を行う方への支援について（林業・木材産業複合経営化支援保証）」

<https://www.jaffic.go.jp/guide/rin/default2022042214150.html>

■NEDO「2023年度第2回『新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業』（新エネ中小・スタートアップ支援制度）に係る公募について」【予告】

公募期間 2023年9月上旬～2023年11月上旬の予定

https://www.nedo.go.jp/koubo/CA1_100422.html